

日本とブラジル:2つの教育の間にいる子どもたち

—学校教師として、法廷通訳として、母としてみた学校・家庭・社会—

佐藤 途見子 先生



8月4日 午前10:00～12:00

持ち物・人数制限など 特になし

日本とブラジルでは、教育の理念も制度も方法もさまざまな共通点とともに違いもあります。教師や保護者の教育観も、同様です。ブラジルでの教職経験からいくつかのエピソードを紹介しながら、ブラジルの学校・家庭・社会の横顔をご紹介します。

日本の学校に通うブラジルの子どもは、多少違いのある日本とブラジルの教育観や制度の間にいます。その子どもたちをどう理解し、どう日本の学校や社会でも活躍できるように導いていくことができるのか。この問いを、不就学状態や社会問題を起こした子どもの後ろ姿に光をあてながらみなさんとともに考えていきたいと思えます。

講師紹介

佐藤 途見子 (さとう とみこ)

フリー通訳。ブラジルSão Paulo州教育局教員をつとめるかたわら、Faculdades Metropolitanas Unidas 大学を卒業。その後、群馬大学教育学部に留学。1976年より、ブラジルSão Paulo州教育局副校長、校長、学校指導官を歴任。1992年に再び来日、群馬県国際交流協会を経て、現在は日系ブラジル人との通訳として活躍されている。

